

別記様式

		担当課	総合政策課	
会議の名称		令和元年度第一回鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会		
開催日		令和元年11月27日(水)		
開催時間		午前10時00分 開会 ・ 午前11時40分 閉会		
開催場所		鴻巣市役所本庁舎4階大会議室		
議長(委員長・会長)氏名		なし		
出席者(委員)氏名 (出席者数)		小林 忠司 (鴻巣市商工会) 鈴木 将浩 (鴻巣北本青年会議所) 野本 勝之 (ほくさい農業協同組合川里中央支店) 川染 三郎 (鴻巣市私立幼稚園・認定こども園協会) 久保田 泰雄 (鴻巣市民間保育園園長会) 田部井 康弘 (鴻巣市立小・中学校校長会) 染谷 忠彦 (女子栄養大学) 福田 馨 (埼玉りそな銀行鴻巣支店) 草生 一英 (武蔵野銀行鴻巣支店) 星野 光生 (群馬銀行鴻巣支店) 中村 雅俊 (埼玉縣信用金庫鴻巣支店) 大越 崇雄 (川口信用金庫鴻巣支店) 木部 雅夫 (日本郵便鴻巣部会) 竹中 健司 (埼玉県県央地域振興センター) 山田 照夫 (フラワーコミュニティ放送) 小沢 信吉 (鴻巣市シルバー人材センター) 小久保 勉 (大宮公共職業安定所) 計17名		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)		中根 新一 (さいたま農業協同組合) 田尻 要 (ものづくり大学) 安西 和紀 (日本薬科大学) 計3名		
事務局職員職氏名		市長政策室長	根岸 孝行	市長政策室副室長 齊藤 隆志
		総合政策課長	武田 昌行	総合政策課副主査 羽鳥 敦
		総合政策課主事	田村 友裕	総合政策課主事 千葉 佳代
傍聴の可否 (傍聴者数)		可(0名)		
会議の内容	1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介(自己紹介) 4 議題 ・第1期総合戦略における各事業の成果・検証結果及び第2期策定に向けて 5 その他 6 閉会			

(決定事項など)

#### 【次第4 議事】

事務局から総合戦略の概要、第1期総合戦略の成果・検証及び第2期総合戦略策定の方針説明を行う。

加えて、鴻巣市で現在シティプロモーションの一環として取り組んでいる「このすLIFE」パンフレット、「動画コンテスト」「ブランドブック埼玉ミッドエリア『IKOKA』」について案内。

その後、委員から各分野の地方創生に対する取組、意見等をいただいた。

#### ○動画コンテストについて（フラワーコミュニティ放送）

コンテストに事務局として参加している。市民が記者になり鴻巣市の自慢をしてもらいたいという企画。魅力発信のためぜひ参加してほしい。

#### ○県央地域の現状について（県央地域振興センター）

- ・ 市町により違いはあるものの、全体的に人口は横ばい傾向にある（H19～H30）。ただし、今後減少となる見込みのため、いかに減少幅を緩やかにしていくかが課題。4市1町で協働して県央の魅力を発信していく。
- ・ お仕事発見・体験ツアーは、子どもたちに仕事見学をしてもらい、地元での就職を促す取組。市をまたいで企業見学は貴重な機会。
- ・ 出生数を増やす取組については、安心して出産できる環境を整えるなど、今後さらなる検討を。

#### ○子育てについて（民間保育園園長会）

- ・ 母親が遠方に通勤している方が多いため、保育所の開所時間を長くしてほしいとの要望が多く聞かれる。また、市外で夜間診療を気軽に受けられるように、窓口払いがなくなるとありがたい。
- ・ 合計特殊出生率を伸ばすため、出産・子育てに対する手当を厚くしてほしい。最近では健康な状態で出産を迎えるケースは少なく、処置や入院をするなど、医療の力を借りて生まれる子が増えてきた。
- ・ 体験を通して中身のある保育、教育を浸透させ、親にも情報発信に協力してもらわなければならない。
- ・ 台風19号を受け、安全なまちを強くアピールできれば市の魅力になるのでは。

#### ○空き家対策について（埼玉りそな銀行）

市民から空き家が増えている情報をよく耳にする。遺産整理業務をする中でも家の管理に悩む方が多い。鴻巣市は不動産価格が適当であることから、不動産業者と連携しながら家の購入を検討している人とうまくマッチングできれば、転入者も増えるのではないかな。

#### ○地域連携について（川口信用金庫）

鴻巣で開店して今年で5年目。まだ手探り状態だが、時代に合った地域づくりを近隣支店と連携を図りながら進めていきたい。空き家問題についても地域と連携したい。

○（埼玉縣信用金庫）

- ・ 比企郡は定期的に行政と金融機関が意見交換をしているが、具体的な意見は出にくい。第2期策定に向けては、具体的な話し合いをお願いしたい。
- ・ 創業や事業承継はどの地域も大きな課題。

○（商工会）

- ・ 合併時の会員数約1,900に対し、現在は1,700程度。特に商業は廃業で年々減少している。
- ・ まちの空き店舗も増え、市と連携し補助金を出す等、創業支援に力を入れている。創業セミナーをすると60歳以上の方が半分程度おり、定年後も意欲がある方が多い印象。
- ・ 駅前に居酒屋やカフェ等の飲食店が増えている。他市は苦戦している様子だが、鴻巣はエルミがあるから人が集まる。個人商店と手を組んでほしいが難しい。

○子育て環境について（私立幼稚園・認定こども園協会）

子育ては父と母が揃ってするもの。夫婦で協力できていないことが少子化の大きな問題である。男性は定時に帰り子どもと過ごす時間を持たないと子育てできない。子育てをしてこなかった男性が集まり少子化対策を議論するのはいかなものか。孫育てできる環境づくりも必要。

○まちづくりについて（民間保育園園長会）

免許返納の問題もあり、今後は高齢者が買い物をするのも大変になる。マンションの近くにスーパーがあるなど、子育て世代にも高齢者にも住みよいまちづくりを検討してほしい。

○総合戦略策定について（女子栄養大学）

- ・ 総合戦略は誰のため、誰に向けたものなのか。現在の案は難しいため、もっと身近さがあつたほうがよい。市をアピールするには見せ方、明るさ、住みやすさが大事であり、そのためには駅前開発がポイントとなるのでは。
- ・ 委員構成は見直した方がよい。広く、他分野から選出するべき。

○空き家対策について（群馬銀行）

空き家には個人宅と店舗があるが、建て替えには様々な補助がある。鴻巣市は転入者が多いこともあり、情報発信を様々な形で提案していきたい。

事務局より、関係人口に関して鴻巣市のふるさと納税の現状説明。

寄附金額は昨年度37,425千円に対し今年11月時点で昨年度比140%程度で推移している。12月に大幅に増える見込み。

人気の記念品は季節により花、クリスマスケーキなど。年間通してはもち麦が人気である。

配布資料

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 座席表
- ・ 鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会要綱
- ・ 第2期鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けた基本的方針
- ・ 鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況報告

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。